

平成25年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立楠見東小学校
作成日	平成 26 年 2月 27日

1 教育目標

正しい人権意識を持ち、豊かな知性と情操を身につけ、健康で自主性に富み、みんなと協力して力強く生きぬく子を育てる。

2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標	保護者や地域は、学校運営の向上や子どもの健やかな成長のために、互いに連携し、協力していきたい。	勉学だけにとらわれず、道徳面も含めて、素晴らしい心を持つ子どもを共に育てていきたい。	基礎的・基本的な力を身につけ、自ら勉学に取り組む子どもに育つことを期待したい。
取組の状況に対する意見	学校や地域の行事に参加・協力する機会を多くつくと共に、学校が理解されるには、情報発信の重要性を認識して取り組んでいる。	挨拶や掃除等、日常的な生活も繰り返すことでつけた力は、学習や生活においても基礎的な土台となる。また、介護老人ホームエスポワールとの交流や図書ボランティアの方とのふれあい、パトロール隊の方へのお礼等、様々な人達との関わりを通して学ぶ力も期待したい。	全ての学問の基礎となる国語力の向上に努力している点がよかった。市の「みんなの学習クラブ」の利用等、基礎学力向上にむけて、毎日、少しずつ改善できるように積み重ねていってほしい。また、東タイムが効果を出すことにも期待している。
(評価結果) 取組の成果と課題に対する意見	各行事やお便りで学校からの情報発信がなされているが、保護者や地域も関心を多くもち、協力体制が必要であると思われる。本年度は、子どもセンター事業や楠見地区文化のまつり等を通して、学校、保護者、地域の交流を深めることができた。	挨拶ができる子どもが増え、掃除も丁寧にできているように思われる。下学年のお世話をする上学年の姿や広い運動場で仲良くのびのびと遊んでいる子ども達の姿も見られた。また、様々な人達との交流により学ぶことも多かったようである。	基礎学力向上に向けて、学校全体で取り組み、学習の成果として向上を期待したい。学力定着のため、家庭での復習等がなかなか取り組めていないことについては、改善が必要と思われる。図書の蔵書を増やし、日頃から読書習慣が身につけることにも期待したい。
改善方法に向けての意見	今後、取り組みの工夫・改善を行うことで、更に学校を通して保護者や地域との交流を高め、取組の効果が得られ、学校の活性化が図れるよう取り組んで行きたい。	親子、子ども同士の挨拶をもっとしていくことから、お互いの会話などを増やす効果に繋がっていくことに期待したい。また、感謝の心を育んだり、社会に役立つボランティア活動にも進んで取り組んでいってほしい。	東タイムの活用が、基礎の学力(考える力、表現力など、算数等の教科)に効果が見込まれるので継続してほしい。また、あいさつや考えを伝えることの重要性を理解できる子が増えることを望みたい。個に応じた指導についてもお願いしたい。

3 その他のご意見

全ての子どもたちにとって、学校が楽しく魅力あるものになるように、学校側もスクールソーシャルワーカー、関係機関とも連携していただき、また、保護者や地域も協力・援助を惜しまないように、今後も互いに努力していきたい。